



ジャパンファーム夏祭り 4年ぶりの開催に賑わう

7月8日(土)、株式会社ジャパンファームにおいて「2023ジャパンファーム夏祭り」が開催されました。

この祭りは、同社が地域への日頃の感謝を込めて開催するものであり、特設ステージでは、従業員などによるカラオケ・ダンス・バンドなどさまざまなパフォーマンスが披露され、会場は大盛り上がりでした。

また、多くの出店が立ち並び、その前には長蛇の列ができていました。来場者はとても楽しんでいる様子でした。



感動！合唱コンクール 素晴らしい歌声が響きました

7月5日(水)、大崎中学校体育館において「第10回大崎中学校合唱コンクール」が開催され、クラスごとに課題曲と自由曲の2曲を合唱しました。

生徒は、音楽の時間や昼休みなどを利用して約1か月間練習をしてきました。当日は、これまで頑張ってきたことや曲の紹介などを生徒がおこない、そのナレーションを聞き、観客はさらに心を惹きつけられた様子でした。

3年の柿原沙代さんは「とても緊張しました。練習の時に、もめてしまうこともあったけれど、本番は上手く行って良かったです。最後のコンクールでいい思い出ができました」と振り返りました。



子育て支援の模範活動として受賞

B&G大崎わんぱく海洋クラブがB&G財団から表彰され、7月10日(月)、「2022年度BG塾伝達式」がおこなわれました。

BG塾は、夏休みなどの長期休業期間に、勉強だけでなく郷土学習や自然体験などさまざまな学びを体験する子育て支援事業です。

2022年度も全国各地でBG塾が開かれ、各地域で工夫を凝らした学びがおこなわれました。同クラブは、全国の模範となる活動をしたことが評価され2021年度に引き続き「特A」の評価を受けました。



そばづくり・そば打ちで地域交流

7月8日(土)、野方農村環境改善センターにおいて、野方小学校の6年生7名がそば打ち体験をおこない、野方地域の皆さんと交流しました。児童は毎年、地域の皆さんとそば打ち体験をおこなっており、昨年9月にそばの種を蒔き、12月に収穫したそばの実の選別をおこない、今回、佐土原正治さんからそばの打ち方を教わった後、2~3人のグループで協力しながら、こねたり、のばしたり、切ったりして作りました。末吉優さんは「粉をまとめるのが難しかったけど、切る作業が楽しかった」と話してくれました。また、打ったそばは地域の皆さんが調理をし児童に振る舞われました。児童は「自分で作ったそばはいつもと味が違っておいしい」とおかわりをしていました。